

西新病院ニュース



福岡大学西新病院 副院長就任のご挨拶

福岡大学西新病院

副院長 西川 宏明

この度、福岡大学西新病院長三浦 伸一郎教授、福岡大学朝 啓二郎学長よりご推挙を頂き、本年4月より福岡大学西新病院の副院長を拝命いたしました。

当院は、平成30年4月1日に医師会成人病センターより医療事業を譲り受け開院しました。私は、開院当初より診療部長と循環器内科科長を兼任して「地域に信頼される医療の提供」を基本理念に、地域医療と大学病院の高度医療を垣根なく橋渡しできる医療連携を目指して努めてきました。

この度のコロナ禍が続く中、これまでの個々の価値観や生活様式は短期間で大きく変貌し、病院の在り方におきましても徹底した感染対策や救急医療の体制、スタッフの働き方や学生への教育指導に至るまで早急に再構築することが要求されています。このコロナ禍の経験を糧として、スタッフ皆で考え、意見を交わし合い、地域の先生方や医療従事関連の方々との連携を一層深め、今後もスタッフ一同一丸となって質の高い医療を提供できる病院づくりに貢献したいと思っております。

ここで、医師会成人病センターから西新病院へと長い間、地域医療の現場で御活躍された前任の副院長、勝田洋輔先生に心より感謝の意を伝えたいと思っております。勝田医師は、これまで臨床現場で常に先端に立ち、若い先生方や医療スタッフへの教育、指導を決して怠らず、国内外の学会活動や諸々の研究会など積極的に参加されてきました。その恩恵を受けた方々は到底数えきれないほどと思っております。本当にありがとうございました。今後は、東区で開業されますが、どうかお身体に気をつけて、くれぐれもご自愛されますようお願い致します。

これからも西新病院は、医師会成人病センター時代から築き上げられた地域の信頼をさらに向上できるように、日々努力していく次第であります。今後とも、福岡大学病院、筑紫病院、西新病院を何卒宜しくお願い致します。

新任医師紹介

循環器内科



則松 賢次

安心安全をモットーに地域医療に貢献できるよう、精一杯頑張ります。若輩者ですが何卒よろしくお願いいたします。

二見 真紀人

特に心不全、虚血を専門にしております。地域の先生方のニーズに応えられるように地域連携に努めて参りたいと思います。これからよろしくお願い致します。



大西 菜月

地域の医療に少しでも貢献できるよう頑張りますので、宜しくお願いします。

森井 誠士

内科診療部長と医局長も兼任しておりますが、まだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



消化器内科



黒木 大世

患者様第一をモットーに診療を行なっていきます。どうぞ宜しくお願い致します。

江上 弥之介

日々患者様や先生方から学ばせて頂いています。患者様一人一人を丁寧に対応させて頂く所存です。何卒宜しくお願い致します。



総合・健診

河野 靖

専門は循環器・心臓超音波領域です。福岡での生活にまだ慣れておらず、健診という業務も未経験ですが精一杯尽力いたします。



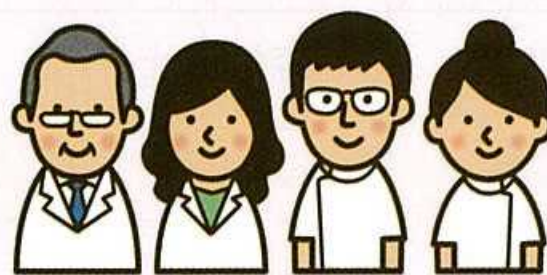
糖尿病・代謝・内分泌



山下 陽

色々にご迷惑をかけると思いますが、よろしくお願い致します。

ICTって何だろう



感染制御・教育研究センター
感染管理者 平松 仁美

ICTとは『インフェクションコントロールチーム (Infection Control Team ; 感染制御チーム)』の略称です。感染の脅威から患者さんやそのご家族、職員、当院に関わる全ての人々を守るため、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師の4職種が、それぞれの専門的な観点からさまざまな活動を行っています。

例えば、院内感染を防止するために毎週院内を巡回し、患者さんの療養環境に問題が無いか、手指消毒薬やマスク・手袋などの防護具が適切に使用されているか、廃棄物の処理が正しく行われているか、といったチェックを行います。また、感染症治療の経過を確認するため、患者さんに必要な検査が行われ、その結果がどうであったか、患者さんに見合った抗菌薬が適正に使用されているかを確認します。検査部門では、患者さんからどのような病原性が検出されているか、感染症の診断に必要な検体(血液や痰など)が適切に採取されているかのチェックや指導などを行います。その他にも年に数回の職員研修会開催や、地域の医療機関からの感染対策に関する相談も受けています。

感染対策は一朝一夕に成し得るものではありませんし、終わりもありません。この1年は新型コロナウイルス対策も加わり、大変慌ただしい日々でしたが『患者さんにご家族、職員、当院に関わる全ての人々の安全を守る』ために、ICTでタッグを組み、職員とともに、今日も、これからも尽力して参ります。

看護部「人間性豊かな患者中心の看護」の実践のために

看護部長 椎葉 優子

福岡大学西新病院看護部は「人間性豊かな患者中心の看護」

—誠実・責任・創造—の看護部理念を掲げ、看護部組織づくりを行っております。

令和3年度看護部は、15名の新採用者を迎えました。コロナ禍で臨地実習の経験が少ない新人や他施設で経験を積み当院に入職された方々の不安を理解し、早期に適応できるように支援するために、昨年度より看護部教育委員会を中心に取り組んで参りました。

前年度には西新病院の全ての看護師に、「新人を迎えるにあたっての心構え」というテーマで研修を行い、「個々の進捗を理解し主体的に学べるように関わる」「新人と共に学びながら指導者として成長することを確認いたしました。看護部内で部署の教育に関わる指導を意識統一したことにより、新採用者をこれまで以上にあたたかく迎えることができていると感じています。

私たちは、看護部全体で共に学び、成長し続けることにより、「患者中心の看護」を提供できるように取り組んで参ります。

人が育つ組織、変化に耐えうる組織、いきいきと働き続けられる組織づくりを実践し、地域の皆様に信頼されるあたたかい医療・看護を提供いたします。

